

1 身近な話題から

以前、新聞に次のような内容の投稿（電話）がありました。
「ある温泉で、5歳くらいの男の子がピンク色のドライヤーを使っていると、2、3人の女性が『男の子なのに、ピンク?』と声をかけられました。その子の若いお母さんは急いでその子を持って出ていかれ、性別で色を決めつけてしまうことに疑問を抱いた」という内容でした。このような場面、みなさんの身近にはないでしょうか。



2 「らしさ」の問題

私たちは当たり前のように、男は「男らしく」、女は「女らしく」と口にしますが、十人十色と言われるように、一人一人顔かたちも違えば、体格も考え方も性格も違います。「男らしさ」「女らしさ」と一括りにして捉えるのではなく、「その人らしさ」と考えることも大切なかもしれません。一つの固定観念に固執し、自分の考えだけが正しいと思うことは、他者との間に摩擦を生むことになったり、偏見の元になったりするのではないのでしょうか。

何でもかんでも時代の変化にあわせて行きましようと言うつもりはありませんが、時代が変わると共に、社会の考え方も少しずつ変化していきます。その変化は決して悪いことではありません。その変化をしっかり捉えたくて、自分の考え方や見方はどうだろうか、と常に自分を検証する姿勢が大事だと思います。もちろん、私自身も含めての話です。

※「ジェンダーレス」とは、社会的・文化的な男女の差がない、またはないことを目指す考え方のことです。

おうちで食べたい給食レシピ!
「ポークビーンズ」



- 4人分量**
- 豚もも肉(こま切れ) ……60g
 - たまねぎ(角切り) ……200g
 - にんじん(角切り) ……40g
 - じゃがいも(角切り) ……200g
 - マッシュルーム(しめじでも可) ……40g
 - 水煮大豆 ……80g
 - ミックスビーンズ ……50g
 - サラダ油 ……8g
 - おろしにんにく ……2g
 - 赤ワイン(料理酒でも可) ……15g
 - 食塩 ……小さじ1/2
 - こしょう ……少々
 - ケチャップ ……80g
 - ウスターソース ……小さじ1
 - こいくちしょうゆ ……小さじ1
 - 砂糖 ……小さじ1

【作り方】

- 鍋を中火にかけて、油を入れる。豚肉を入れて、炒め、さらに、おろしにんにく、食塩、こしょう、赤ワインを入れて豚肉の色が変わるまで炒める。
- たまねぎ、にんじん、マッシュルーム、じゃがいもの順に入れ、その都度、炒める。
- 全体に油が回ったら、かぶるくらいの水を入れて煮込む。
- 食材に火が通ったら、水煮大豆、ミックスビーンズ、Aの調味料を入れて煮込む。
- 調味料がなじんだら、できあがり。

ひとくちメモ

給食の定番メニューのひとつです。豆がたっぷり入った煮込み料理ですが、それぞれの食材のうまみがつまって、苦手な人も多い豆も食べやすくなっています。豆は良質なたんぱく質と食物繊維が豊富です。

文芸広場

肥後狂句
晴れ上がり 空も成人 祝うとる
晴れ上がり 箱根の路も 笑つとる 井上りんどう
晴れ上がり 大掃除した アメフト部 池上 沢庵
そぎゃん やっぱ政治も 金ばいた 庄山 道草
そぎゃん 財産なかと もめんにとに 福永すみれ
そぎゃん 努力は決して 嘘つかん 高木せいや
あて外れ 封筒の中 手紙だけ 池田 茜
あて外れ 服買うてから ダイエット 瀬上 歌子
あて外れ 予約が要った 店だった 二瀬 桔梗
石原かわせみ

かなしき原俳句会
店頭の葉牡丹に足止まりけり 誠一
逝く人をのつべい汁で送りけり 明
冬耕や大地黒々蘇る 康子
教え子の星となりたる冬銀河 弘子
貧しめる庭に眩しき石路の花 貞子

菊水俳句会
元日の津波今年を暗示する 嶋田 俊一
どんどの煙切なや能登地震 池田 松子
地震禍や八年を待ち初詣 宮中 康雄
蘭玉を丸めて母娘の年行事 本田美穂子

みんなの広場

**遊び × 防災イベント
「あそぼうさい」を開催!**

12月17日回、ひとり親家庭や子育て世代を対象としたイベントを緑彩館駐車場で、約150名の親子が参加しました。このイベントは、(株)丸美屋や銀河ステーションなどの支援により「てとてとて玉名郡」が毎年開いており、当日は、防災かるたや非常食になるパン缶のラベルづくりなどを行いました。また、専修大学熊本玉名高校ラグビー部の協力で、チームでパスを回しながら避難先にトライするラグビー体験もあり、寒い中でしたが、楽しみながら防災について学んでもらいました。

投稿：主催会長 柳原志保 (馬場区)

和水町公民館図書室だより

問 中央公民館図書室 ☎0968・86・2022
三和公民館図書室 ☎0968・34・3047

開館午前9時～午後10時(年末年始除く) 1回につき1人5冊まで、2週間借りることができます。

今月は文化財の本を紹介します。和水町にはたくさんのお古墳や城跡などの文化財がありますが、地元だと意外と知らないものです。暖かくなり花が咲き始めたら、散歩がてら古代の神秘に触れに出かけませんか?もしかしたらパワースポットかもしれませんよ!



【装飾古墳ガイドブック】
柳沢 一男 (新泉社)

鮮やかな色彩、不思議なデザイン!装飾古墳に表現されたさまざまな図文は、単なる墓室内の飾りではありません。古墳時代の人々の死者への想いが表現されたものです。九州には数多くの装飾古墳があります。古代のロマンに触れて行ってみませんか?



【親子で学ぶ 熊本の文化財】
林 茂 (熊本日日新聞社)

生活情報誌「あれんじ」に連載した地元の学芸員さんイチオシの文化財をまとめられた一冊です。和水町からは江田船山古墳を紹介しています。昨年は、江田船山古墳が発掘されて150年でした。古墳からは、銀象嵌銘大刀・冠・耳飾りなどたくさんのお宝が出土しています。町が誇る江田船山古墳の神秘に触れてみませんか?